

ヒューマンケア研究学会誌 投稿規定

1. 投稿資格

本誌への投稿は共著者も含めて本学会会員とする。編集委員会からの依頼原稿についてはこの限りでない。

2. 原稿の種類

本誌は原著、総説、研究報告、実践報告、資料等を掲載する。また、他誌に発表された原稿(リポジトリへの収載を含む)の投稿は認めない。

1) 投稿原稿の種類は次のとおりであり、著者は希望の原稿の種類を明記すること。

(1) 原著

独創性に富み、新しい知見や理解が論理的に示され、研究としての意義が認められるもの。

(2) 総説

ある特定のテーマに関して1つまたはそれ以上の学問分野における知見を幅広く概観したもの、あるいは最近の発展・問題点を中心に解説したもの。

(3) 研究報告

内容的に原著論文には及ばないが、ある研究の方向性が示され、発表の価値が認められるもの。

(4) 実践報告

保健・医療・福祉に関する実践結果の報告で、その成果により学術的発展が見込めるもの。

(5) 資料等

保健・医療・福祉の向上・発展に貢献する資料など。

3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていることとする。また、倫理審査委員会(もしくはそれに相当するもの)での承認が必要であった論文については、倫理審査委員会の承認番号を付記することとする。

4. 利益相反

- 1) 研究の成果にバイアスがかかっているかを判断する材料となるよう利益相反 (Conflict of Interest: COI) の開示が必要である。著者全員が研究内容に関係する企業・組織または団体との利益相反状態について、『利益相反申告書』に自署名し、編集委員会に原稿とともに送付する。
- 2) 当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を「謝辞」の欄の次に、「利益相反」の欄を設けて記載する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

5. 投稿手続き

- 1) メールで投稿希望の旨を連絡 (human-journal@kusw.ac.jp) する。
- 2) 編集委員会からの返信内容にしたがい、必要書類を送信する。

6. 原稿の受付および採択

- 1) メールで原稿を受け取った日を受付日とする。
- 2) 投稿規程に沿っていない場合は受け付けない。
- 3) 投稿原稿の採否および原稿の種類は査読を経て、編集委員会が決定する。
- 4) 原著、総説、研究報告、実践報告希望の場合は、編集委員を除く2名以上の査読者による査読を行う。資料希望の場合は、編集委員を除く1名の査読者による査読を行う。
- 5) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を求められることがある。
- 6) 編集委員会から審査結果を送信後、再提出を求められた原稿は指定日以内に再投稿すること。指定日を経過してから再投稿されたものは、新規投稿として取り扱うことがある。
- 7) 採用決定したときには、編集委員会から著者に通知する。
- 8) 掲載証明書が必要な場合は別途対応するので投稿時に編集委員会へ連絡すること。
- 9) 投稿論文等は返却しない。

7. 著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された投稿原稿について、著者による校正は1回のみとする。なお、校正時の大幅な加筆、修正は原則として認めない。

8. 執筆要領

- 1) 投稿時は、『投稿論文チェックリスト』に従って原稿を点検確認し、送信する。
- 2) MS-Word 使用とする。A4 版用紙に、35 字×28 行で作成する。句読点は、コンマ「,」及びピリオド「.」（全角）を用いる。
- 3) 各頁の下中央に頁数を記入し、頁ごとに行番号を入れる。
- 4) 原稿ファイルは、本文、図、表に分ける。本文に表紙はつけず、『論文送付状』を作成後、送信する。
- 5) 著者名、所属機関名、承認を得た倫理審査委員会名・承認番号、謝辞など、個人を特定できる事項は「論文送付状」内に記載し、投稿論文ならびに図表中には記載せず、「○○」や黒塗りで置き換える。
- 6) 数字及び英字は原則として半角とする。なお、投稿原稿は原則として日本文とする。
- 7) 特殊な、あるいは特定分野でのみ用いられている単位、符号、略語、ならびに表現には必ず簡単な説明を加える。
- 8) 投稿原稿の構成は原則として以下のとおりとする(総説、資料等を除く)。
 - I. 緒言：研究の背景・目的
 - II. 研究方法：研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
 - III. 研究結果：研究等の結果
 - IV. 考察：結果の考察・評価
 - V. 結語：結論(省略も可)
- 9) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の枚数程度とする。

原 著	16 枚以内
総 説	16 枚以内
研究報告	16 枚以内

実践報告 12 枚以内

資 料 8 枚以内

- 10) 図・表および写真にはタイトルを記載し、図 1、表 1 および写真 1 などの番号をつけ本文とは別にまとめておき、原稿の欄外にそれぞれの希望挿入位置を指定する。図・表および写真は 1 枚の用紙に 1 つとし、原則としてそのまま製版し掲載できる明瞭なものとする。

図の場合は下段に図 1 のように通し番号を振り、全角スペースを空けてタイトル名を記載する。

表の場合は上段に表 1 のように通し番号を振り、全角スペースを空けてタイトル名を記載する。

- 11) 原著の場合には 250words 前後の英文要旨ならびに 400 字程度の和文要旨をつけること。英文要旨は、Times New Roman の 12 フォントを用いてダブルスペースで印字すること。総説、研究報告、実践報告には 400 字程度の和文要旨をつけること。英文要旨については、原著での掲載が決定すれば速やかに専門家の校閲を受け、その証明となる書類を PDF で添付すること。

12) 文献の記載

引用文献は論文の最後にまとめて記載し、見出しは「引用文献」とする。また、引用文献で記載した文献は、本文中で必ず引用しなければならない。また、本文中で引用された文献は必ず、引用文献に記載されなければならない。

- (1) 文献は著者名のアルファベット順に列記する。ただし、共著者は 3 名まで表記し、4 人以上の場合は 3 人までを挙げ 4 人目以降は省略して、3 人の著者名+「, 他」または「et al.」とする。
- (2) 英文には、半角コンマ、半角コロン、半角ピリオドを用いる。半角コンマの直後には半角スペースを入れる。外国人著者の名前は、「姓(フルスペル), 名(イニシャル).」で記載する。
- (3) 雑誌の場合

著者名(発行年次): 論文の表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻(号), 最初のページ数-最後のページ数.

例)

枝川千鶴子, 泊祐子(2020): 在宅移行期において家族が直面する医療的ケア児の体調管理上の困難, ヒューマンケア研究学会誌, 11(1), 3-11.

Cobb, SC.(2004): Internet Continuing Education for Health Care Professionals: An Integrative Review, J of Contin Educ Health Prof, 24(3), 171-180.

(4) 単行本の場合

著者名(発行年次): 書名(版数), 出版社名, 発行地.

著者名(発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例)

木下康仁(2003): グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践・質的研究への誘い, 弘文堂, 東京.

Greed, S., Anderson, D. (2003): Statistics in Nursing (2nd ed), 51-69, Elsevier, London.

(5) 翻訳本の場合

原著者名(原書の発行年次)/訳者名(翻訳書の発行年次): 翻訳書の書名(版数), 出版社名, 発行地.

例)

Benner P. (2001) / 井部俊子監訳(2005): ベナー看護論 初心者から達人へ, 医学書院, 東京.

(6) 電子文献の場合

① DOI がある学術論文

著者名(年号): 論文タイトル, 収載誌名, 巻(号), ページ数, doi: DOI 番号. (検索日)

② DOIがない学術論文

著者名(年号)：論文タイトル，掲載誌名，巻(号)，ページ数，URL. (検索日)

(7) Web サイト，Web ページ

著者名：Web ページの題名，Web サイトの名称. 更新日付. URL. (検索日)

例)

国立がん研究センターがん情報サービス：知っておきたいがんの基礎知識，がん情報サービス. 2020-10-21. <https://ganjoho.jp/public/diatre/knowledge/basic.html> (検索日 2021-03-11)

(8) 本文中の引用方法

- ① 「……と報告している(石井・上野，2019)」「……と述べている(Benner, 2001)」のように著者の姓，西暦発行年を括弧で表示する.
- ② 複数文献を同一箇所引用した場合には，(石井，2020；川野・田中，2010)のように筆頭著者のアルファベット順に表示する.
- ③ 共著者は3名まで表記し，4人以上の場合は3名までを挙げ4人目以降は省略して，3人の著者名＋「，他」または「et al.」とする.

9. 著作権

掲載原稿の著作権は本学会に帰属する. 学会誌掲載後は本学会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる. 著者全員が『著作権委譲承諾書』に自筆署名し，編集委員会に送付すること.

10. 掲載費用

- 1) 別刷代は著者負担とする.
- 2) 規定枚数を超過した分については，刷り上がり超過分1頁につき2,000円を著者負担とする.

附則)

本規定の改正は，平成24年10月1日から施行する.

本規定の改正は，平成27年10月1日から施行する.

本規定の改正は，平成30年4月1日から施行する.

本規定の改正は，令和3年11月13日から施行する.

『ヒューマンケア研究学会』利益相反(COI)申告書

論文題名 _____

投稿論文に関係する企業・組織または団体との COI 状態を記載してください(著者全員が各一部).

投稿時から遡って過去 1 年以内の COI 状態を記載して下さい.

	金額など	該当の状況	該当のある場合：企業名・組織または団体名等
職員・顧問職	100 万円以上	有・無	
株	利益 100 万円以上 全株式の 5%以上	有・無	
特許権使用料など	100 万円以上	有・無	
謝金・講演料など	50 万円以上	有・無	
原稿料など	100 万円以上	有・無	
企業・団体等からの 研究費	200 万円以上	有・無	
奨学寄附金 (奨励寄附金)	200 万円以上	有・無	
その他報酬 (実質的に用途を決定 しうる寄付金で実際に 割り当てられた 100 万 円以上のものを記載)	所属	有・無	
その他報酬	10 万円以上	有・無	
個人的利害が生じるような状態		有・無	

(本申告書は、申請の日から 2 年間保管されます)

私の COI に関する状況は申告のとおりであることに相違ありません。

申告日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者署名 (自著) _____

投稿論文チェックリスト

- 本論文は、他紙に発表済みではありませんか。
- 論文送付状の下記内容を記載しましたか。
 - 論文タイトル（日本語・英語）
 - 希望する原稿の種類
 - 別刷り必要部数
 - 原稿枚数
 - 図表及び写真の枚数
 - キーワード（5個以内）
 - 著者名および著者の英語表記と会員番号
 - 所属機関名
 - 連絡者の氏名と連絡先
- 倫理的配慮を要する論文は、その内容を記載しましたか。また、倫理審査委員会（もしくはそれに相当するもの）での承認が必要であった論文については、倫理審査委員会の承認番号を付記しましたか。
- 利益相反(COI)申告書にもれなく記載していますか。
- 投稿論文は執筆要領にそっていますか。
 - 原稿本文は A4 版用紙に 1 ページ 980 字詰め(35 字×28 行), MS-Word で作成しましたか。
 - 句読点は、コンマ「,」及びピリオド「.」(全角)を用いていますか。
 - 各頁の下中央に頁数を記入しましたか。
 - 原稿ファイルは、本文、図、表に分けましたか。
 - 原稿本文ならびに図表中に、個人を特定できる事項は記載していませんか。
 - 数字及び英字は原則として半角としていますか。
 - 特殊な、あるいは特定分野でのみ用いられている単位、符号、略語、ならびに表現には説明が加えられていますか。
 - 原稿の構成は執筆要領に従っていますか。
 - 投稿原稿枚数は本文・文献・図表を含めて、規定の範囲内ですか。
(規程枚数を超過した場合は、超過料金を申し受けます。)
 - 図表は明瞭なものであり、本文とは別にまとめ、原稿の欄外に挿入希望位置を記入しましたか。
 - 要旨の字数やフォントは規定通りですか。原著の場合は英文要旨をつけていますか。
 - 文献は規定通りに引用し、記載されていますか。
- 著作権委譲承諾書にもれなく記載されており、著者全員の自筆署名がありますか。
- 下記をメールにて投稿すること。
 - ・論文送付状
 - ・原稿本文(要旨・本文・文献)
 - ・図(写真)
 - ・表
 - ・『ヒューマンケア研究学会』利益相反(COI)申告書
 - ・著作権委譲承諾書
 - ・投稿論文チェックリスト

上記の点につきまして、すべて確認いたしました。

年 月 日

筆頭著者サイン

論文送付状

論文タイトル

日本語：

英語：

希望する原稿の種類

別刷り必要部数

原稿枚数

図表及び写真の枚数

キーワード(5個以内)

著者名および著者の英語表記と会員番号

1	英語表記	会員番号
---	------	------

2	英語表記	会員番号
---	------	------

3	英語表記	会員番号
---	------	------

4	英語表記	会員番号
---	------	------

所属機関名

1

2

3

4

連絡者の氏名と連絡先(所属機関、所在地、電話、E-mail)

承認を得た倫理審査委員会名

謝辞

利益相反 (COI)

著作権委譲承諾書

ヒューマンケア研究学会 御中

論文名

上記の論文がヒューマンケア研究学会誌に採用された場合、当該論文の著作権をヒューマンケア研究学会に委譲することを承諾いたします。

また著者全員が当該論文の内容に責任を持ち、論文の内容は過去に他誌に掲載されたり、現在も掲載(投稿中のものを含む)が予定されていません。さらに、本論文の採否が決定されるまでは他誌には投稿しません。以上、誓約いたします。

(下記に署名あるいは記名・捺印してください*)

筆頭著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日
著者：	_____	日付：	_____	年	_____	月	_____	日

*用紙が足りない場合や著者が異なる機関等に所属する場合は、用紙をコピーして複数枚提出しても構いません。その場合、いずれの用紙にも上段の枠内に論文名・全著者名の記載をお願いいたします。